

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	松が谷福祉会館こども療育室		
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月2日		令和8年2月27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種による支援	<ul style="list-style-type: none"> 支援の内容や手立て、頻度等を丁寧にアセスメントして方針を立てている。 支援の内容に合わせた専門性がある職員が訪問している。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内の各専門職種による多角的な視点でアセスメントを行い、引き続き支援内容に合わせた職員の訪問と本人、施設への支援を行っていく。
2	満足度の高さ	<ul style="list-style-type: none"> 訪問後の保護者の方との共有は、基本的に対面で行っており、直接丁寧に説明することで理解と情報共有を図っている。 訪問先施設への丁寧な説明と連携を心がけており、施設への支援を積極的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、保護者の方や訪問先施設へ、お子さんの発達状況、訪問時の支援について丁寧に伝え、家庭・施設内での対応やお子さんに関わる大人の困りにも寄り添うようにしていく。
3	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域の訪問先施設での環境調整や関わりの工夫について、具体的に助言し、日頃の支援に活かしていただくようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の物理的・人的環境、方針等についても丁寧に確認し、訪問先施設で実施可能な支援について具体的に助言していくように努める。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内職員の幅広い参画	<ul style="list-style-type: none"> 支援の利用者が少なく、事業に関わる職員も利用児に合わせて限られている状態である。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業所内で、事業の実施状況や改善点、利用者・訪問先施設のニーズなどを共有し、実際に訪問する職員だけでなく、事業所全体として支援内容や支援の実施法について改善を図っていく。
2	情報の周知	<ul style="list-style-type: none"> 事業を始めて間もないため、ホームページに掲載されている情報や訪問支援以外に行っている家族支援のサービスについて、利用者への周知が限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報提供を丁寧に行い、ホームページに掲載されている情報についてや連絡手段等について周知を図っていく。
3	利用者数の制限	<ul style="list-style-type: none"> 児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業等の通所支援事業に加え、区直営の事業所として、相談事業、巡回訪問事業等を実施しているため、保育所等訪問支援事業にかかる人的・時間的な配置が限られている。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の事業とのバランスをとりながら事業所の職員体制を考慮し、また、利用者のニーズと支援の必要性についても見極めながら訪問による支援を行っていく。

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 松が谷福祉会館こども療育室

公表日 令和8年3月16日

利用児童数 2人

回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	1			1		・訪問支援の際に、教材教具やお子さんに合わせた生活用品等を使用する場合はその目的や用途について説明し、支援を進めていきます。 ・保護者の方との面談は、プライバシーに配慮した部屋で、個別に行うことを基本としています。お子さんの個別指導時に保護者の方とお話しする場合は、観察室での面談となることもあります。面談の日時や環境設定など、保護者の方にもご意向を伺いながら設定していくよう配慮していきます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1			1		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	2					・お子さんに必要な支援や訪問先の環境について等、支援に必要なアセスメントを行ったうえで、頻度、時間、支援の方針等について決定し支援を行っています。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2					
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	2					
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					・サービスの利用にあたっては、丁寧な説明を心がけ、保育所等訪問支援計画を用いて保護者の方と支援の手立てや方針を共有しています。 ・所属園で行った支援についても、面談時に保護者の方に説明を行い、状態像についての共通理解を図ることや、家庭での関わりや子育てについて間接的に支援することに努めています。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2					
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2						

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	2				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	1		1		・ホームページに、支援プログラムや第三者評価の実施結果、ガイドラインによる自己評価結果等を掲載しています。保護者の方にもわかりやすく周知し、情報発信を続けていきたいと思っています。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2				
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				・支援を受けるお子さんの反応や状態の変化について、保護者の方に確認をしながら支援を行っています。お子さんの様子について気になることは何でも職員にお伝えください。お子さんの反応や言動の背景を一緒に考えながら対応していきたいと思っています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	1		1		
	28	事業所の支援に満足していますか。	2				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			令和8年3月16日	
松が谷福祉会館こども療育室		利用児童数			2人 回収数2	
	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			・普段の保育の中ですぐに取り入れられるものだったり、家庭にも伝えやすい内容だったりした。	・訪問する職員は、観察を通して間接的に支援する場合と直接的な支援を行う場合があります。いずれも、その理由や目的を訪問先施設の職員の方へ説明し、園内での支援に活かしていただけるよう心がけています。お子さんやご家庭との関りに活かしていただける助言になるよう、引き続き努めていきたいと思っています。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2			・実際に関りを通して本児に支援していただき、助かりました。参考になりました。 ・「成長しているな」と感じられる場面を見てもらい、具体的に知らせてもらえたこと、更に発達のためにした方がよいことを教えてもらえた。	・対象のお子さんについて、日頃の様子や関わりについての心配をお聞きしながら、有効な対応や関わり、環境調整についてお伝えするようにしています。訪問の機会に気になることやわからないことを共有していただくことで、よりよい支援について一緒に考えていきたいと思っています。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	2			・質問にすぐ答えてもらうことができ、不安が解消しやすかった。	・保育所等訪問支援計画を作成し保護者の方へ共有しています。保護者の方を通して計画を共有していただくことが可能です。また、訪問する際には、職員から施設側へも支援内容等について丁寧に説明するよう心がけていきたいと思っています。 ・モニタリングで必要十分な支援内容及び頻度を確認しながら、引き続き支援を行ってきたいと思っています。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2			・支援計画を作成したら、共有していただけると幸いです。 ・保育のし方や支援のし方に不安を感じることもあったので、月2回相談できる場があってよかった。	・施設側への支援を行っていることを評価していただき、うれしく思います。引き続き、訪問先施設の先生方と連携させていただきながら、お子さんご家族、地域への支援を続けていきたいと思っています。
5	事業所からの支援に満足していますか。	2			・半年間ありがとうございました。	・施設側への支援を行っていることを評価していただき、うれしく思います。引き続き、訪問先施設の先生方と連携させていただきながら、お子さんご家族、地域への支援を続けていきたいと思っています。
其他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・日程や支援の方法など、こちらが計画的に検討しお願いできたら、と反省しています。 ・来年度も継続していただけるということで、よろしくお祈いします。 					<ul style="list-style-type: none"> ・日程調整は、行事やお子さんの体調などによっても流動的になる場合があるかと思ひます。細かに連絡を取り合わせていただき、訪問施設側の活動の流れ等にも配慮しながら調整を行ってきたいと思ひます。 ・支援計画に沿って、支援の必要性や頻度を決め、モニタリングによって見直しをしていきます。支援が必要な場合には継続的に訪問させていただくこともありますので、引き続き、よろしくお祈いします。 	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	松が谷福祉会館こども療育室	公表日 令和8年3月16日
-------------	---------------	---------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○			
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		・基本的に、訪問を担当する職員間での検討 になるため、他の職員も広く保育所等訪問に ついての業務に参画できるとよい。	・令和7年度10月に事業を開始し、事業所内の職 員間でも、広く事業の実施状況や改善点について 共有し、検討しあう機会を設けていくことが大切 な時期である。事業の職場内でより広く職員が参 画できるように情報共有や理解を図っていく。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○			
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	○			
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○			
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○			
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子ども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○				

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○			
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
訪問先施設	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			

施設への説明等	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			